

# マダイ

## 生態的特徴等

### 【生態】

日本沿岸のほぼ全域に分布し、水深 30～100m 程度の岩礁域を生息域とする。

産卵期は 3～6 月で、産卵場は岩礁や砂質の水深 20～50m 層に形成される。稚魚は水深 20m 以浅のアマモ場などで成長し、徐々に沖合の岩礁域へ生息域を広げる。稚魚期はカイアシ類、端脚類およびアミ類を、成長とともにエビ類、カニ類及びクモヒトデ類を捕食する。

1 歳で尾叉長 16cm、2 歳で 24cm となり、3 歳で成熟する(図 1)。4 歳になると 37cm になり、体重は 1 kg を上回る。6 歳以上で体重は 2 kg を超える。地域によっては、栽培漁業対象種として稚魚の放流が行われている。

### 【漁法と盛期】

茨城県では底曳網、定置網、刺網、釣りなど様々な漁法で周年に渡って漁獲される。また、遊漁の対象となる。

### 【利用】

刺身、塩焼き、煮魚など様々な方法で調理される。

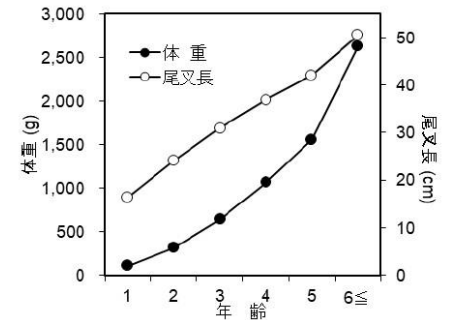


図 1 マダイの成長 (引用より)

## 資源水準は高位、動向は増加傾向

(漁獲量) 漁獲量は、年変動が大きいが増加傾向である。H6年からH24年までは 20～80 トン程度で推移し、H25年に 123 トンまで増加した後は 100 トン前後となっている。R7年は集計期間の範囲内で 2 番目に多い 136 トンの漁獲となった(図 2)。

(水準と動向) 資源水準は、マダイの主分布水深で操業する小型底曳網(5t 以上+5t 未満)の漁獲量から計算した CPUE (kg/隻・日) から判断した。水準は「高位」、動向は直近 5 年間の CPUE の傾向から「増加」と判断した(図 3)。

水準



動向

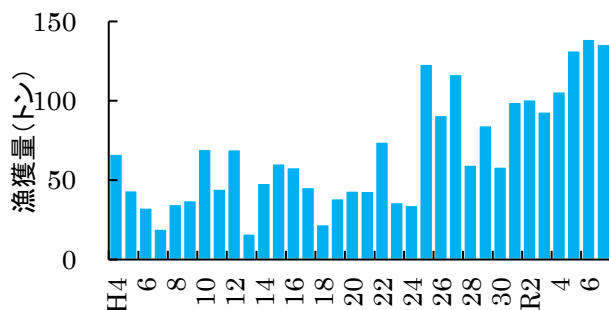


図 2 茨城県のマダイ漁獲量 (水試システム、属地)

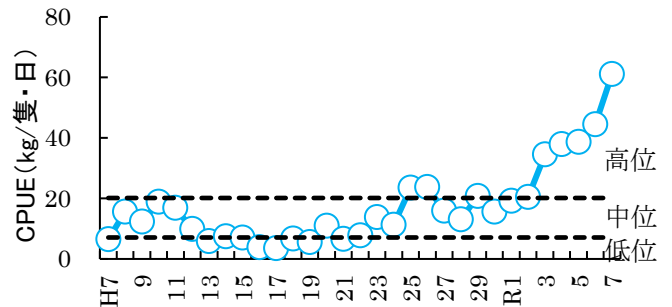


図 3 茨城県のマダイ CPUE (水試システム、小底 5t 以上+5t 未満、属地)

### 【全国の漁獲動向】

- ・兵庫県が漁獲量 1 位、2 位は長崎県、3 位は福岡県。(R6 農統)

評価期間：令和 7 年 1 月～12 月 更新日：令和 8 年 3 月 12 日

引用：水産研究・教育機構水産資源研究所底魚資源部および情報解析部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場、愛知県水産試験場漁業生産研究所、三重県水産研究所、全国豊かな海づくり協会 (2022) マダイ太平洋中部、令和 4 (2022) 年度資源評価調査報告書 (新規拡大種)、水産庁・水産研究・教育機構、東京 9pp、[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/05/trends\\_2022\\_112.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/05/trends_2022_112.pdf).